

平成28年度 第9回全体庁議（12月28日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(2) とかち帯広空港の経営改革について [商工観光部]
----	-------	--------------	------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

道内複数空港の一括民間委託の取組みに関し、北海道が民間委託を検討する空港立地自治体等から聴取した意見を参考に、国に対して北海道としての意見を記載した「国への要望書」の概要を12月26日に提出した。
その内容と、国が想定している今後のスケジュール、帯広市における当面の取組みについて1月17日開催の産業経済委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

○「北海道における空港運営戦略の推進」(北海道発の提案)の取りまとめに向けた取組み

(1)提案の主なポイント

- ・数値目標を明記
 - 1)乗降客数・・・2030年度に3,000万～3,500万人／年、将来的に5,000万人／年
 - 2)来道外国人数・・・2020年度以降に500万人(全国シェア12.5%)
 - 3)貨物取扱量・・・国際貨物は2030年度に2万トン(2015年度の2倍)、将来的に国内+国際合計で30万トン／年
 - 4)道内食品輸出額・・・付加価値の高い食品等の輸出や海外市場拡大に取組み、1,500億円(2025年北海道目標)に寄与
- ・帯広空港のめざす姿を記載

「道東地域と道央地域の結節点、航空の要衝を担う中核空港」～経済と人々の交流を支える航空ネットワークの実現

 - 1)日本を代表する食料生産基地を背後圏とする強みや、高い晴天率、新千歳空港との近接性といった地理的優位性を生かし、陸路・空路・海路の結節点として、物流拠点としても価値を高めていくことや、今後必要な取組みとして、交通インフラの拡充や、駐車場の容量確保・利便性向上などを明記した。
 - 2)観光振興やインバウンド対策等、各空港共通の課題については、まとめて記載されている。
- ・今後も協議を継続する主な事項
 - 1)より良い競争環境を確保するため、事業者が参入しやすい制度設計
 - 2)各空港の特性を生かした、民間委託に参画する各空港の全体最適を可能とする空港運営のあり方など

(2)帯広市の当面の取組み

- ・国や道などと協議しながら、来年度に予定されている市場意向調査(マーケットサウンディング)に向け、検討作業と準備作業を進める。
- ・広く意見を聞くことや情報提供を目的とし、地域住民や事業者を対象としたシンポジウムの開催を国が中心となって検討している。

■ 今後のスケジュール

平成29年1月17日 産業経済委員会へ報告

平成29年2月 第6回 とかち帯広空港における経営改革に関する検討会議

平成29年2月 シンポジウム開催(※)

平成29年6月 市場意向調査(マーケットサウンディング)実施(予定)

※ 国や北海道と協議した結果、平成29年4月19日に開催することになった。(平成29年3月17日追記)

■ 審議結果

- ・同内容で、1月17日産業経済委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし